

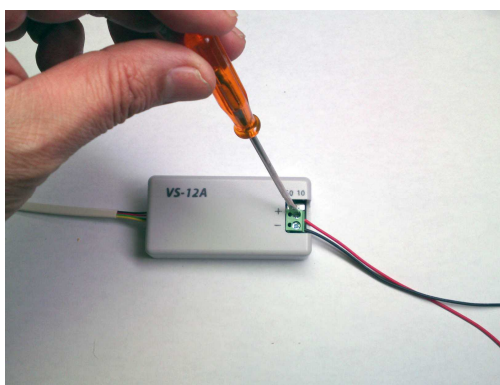
電圧センサーユニット VS-12A 説明書

0~10V または 0~50V の測定が可能な Logger308 用の電圧センサーユニットです。
センサーユニットと Logger308 本体はシリアル通信でデータを送るのでケーブル長によるノイズの影響を受けません。VS-12A は1チャンネル分の測定をおこないますので必要なチャンネル数をお求めください。

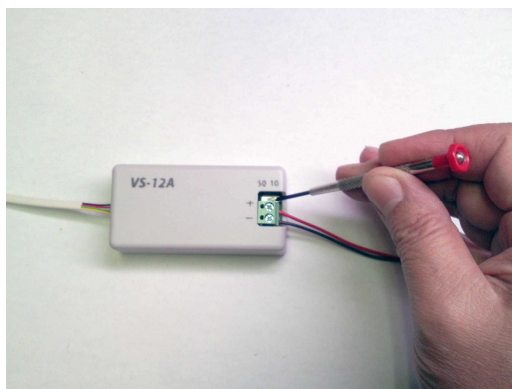
- センサーユニットのコネクタを Logger308 に接続します。
コネクタは写真のように根元を持ってしっかり奥まで押し込んでください。
右下がチャンネル1、左上がチャンネル8です。



- 電圧センサーユニット先端のターミナルに測定する電圧の線を極性に気をつけてビス止めします。
あまり強い力をかけないようにご注意ください。



- アッテネータの設定
センサーユニットのスイッチが外側のとき、測定レンジは標準の 0~10V になります。
スイッチを内側にセットすると 1:5 のアッテネータがオンになって測定レンジは 0~50V になります。小さいドライバーかピンセットのようなものでスイッチを切り替えてください。



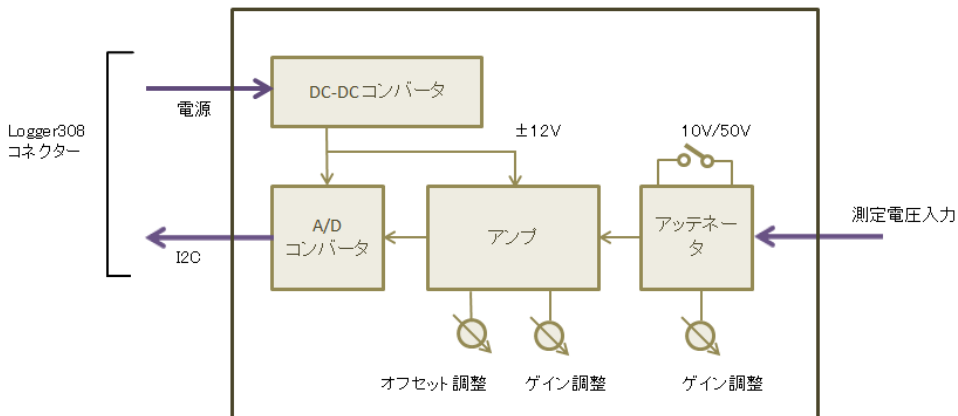
■ ini ファイルの設定

1. Logger308 本体に VS-12A 電圧センサーユニットが接続されていることを知らせるため SD カードの ET360.ini ファイルに以下の設定が必要です。
” CHn = VOLT2” の行を追加
n は接続するチャンネル番号(1~8) 例：チャンネル 1 なら “CH1=VOLT2”
VOLT2 は VS-12A が接続されていることを示します
2. 50V レンジで使う場合 Logger.ini ファイルに “ATTn = 5” の行を追加。
n は接続するチャンネル番号(1~8) 例：チャンネル 3 なら “ATT3=5”
1:5 のアッテネータを使用していることを示します。
10V レンジで使う場合、この行は不要です。(ATTn=1 と書いても結構ですが)

電圧センサーの特性と仕様

項目	値	条件
入力電圧範囲	-0.5V~+55V DC	保護ダイオード付き
測定範囲	0V~10V	アッテネータなし
	0V~50V	1:5 アッテネータあり
精度	12bit 2.5mV ステップ	0~10V レンジ
	12.5mV ステップ	0~50V レンジ
絶対誤差	±25mV	10V レンジ @20℃
入力インピーダンス	> 10MΩ	0~10V レンジ
	約 270kΩ	0~50V レンジ
センサー部サイズ	80.3 (W) x 40.3 (D) x 20 (H)	
ケーブル長	約 1m	
コネクタ	日圧 XH-4 ピン	

VS-12A ブロックダイアグラム



- 本電圧センサーの GND (グラウンド) は Logger308 本体とアイソレートされておりません。複数センサーに接続する GND 線は互いにショートして問題ない事を確認してください。

この製品に関するお問い合わせは info@cyber-melon.com までご連絡ください。